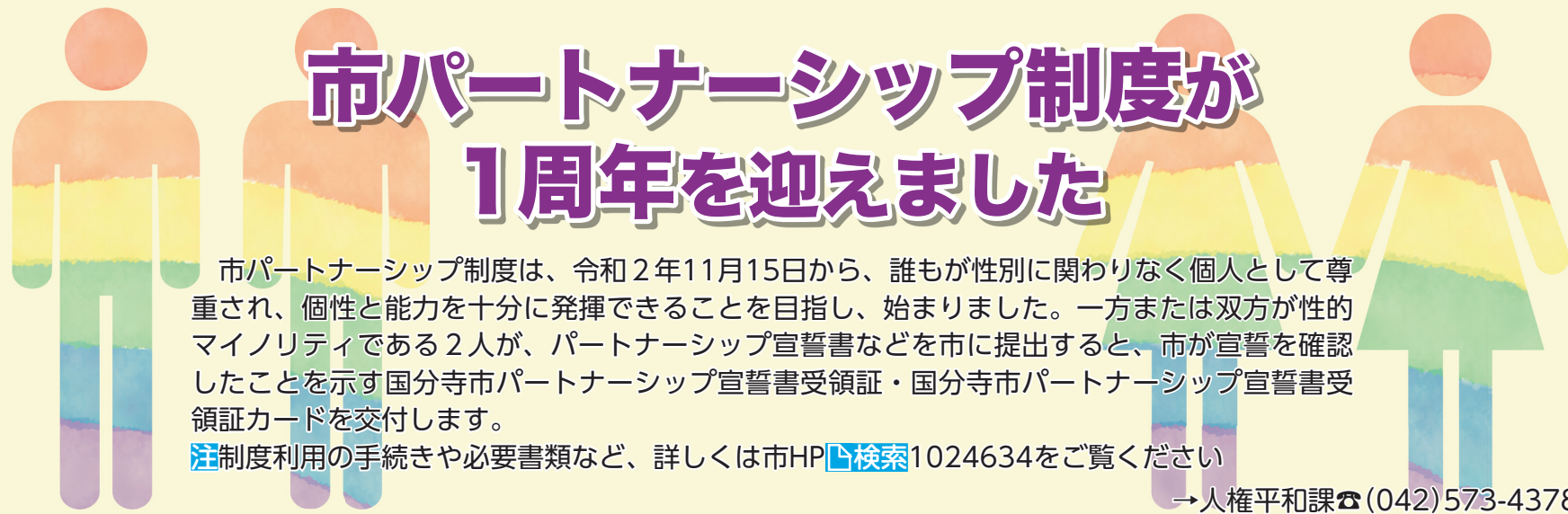


市パートナーシップ制度が1周年を迎えました



市パートナーシップ制度は、令和2年11月15日から、誰もが性別に関わりなく個人として尊重され、個性と能力を十分に発揮できることを目指し、始めました。一方または双方が性的マイノリティである2人が、パートナーシップ宣誓書などを市に提出すると、市が宣誓を確認したことを示す国分寺市パートナーシップ宣誓書受領証・国分寺市パートナーシップ宣誓書受領証カードを交付します。

注制度利用の手続きや必要書類など、詳しくは市HP [検索1024634](#)をご覧ください

→人権平和課 ☎(042)573-4378

宣誓した方たちからメッセージが届きました



パートナーシップを宣誓し、まずはうれしいという気持ちです。二人協力して人生を歩む決心も深まり、同時に自分たちの事だけではなく地域や社会にも貢献していきたいと思うようになりました。人間同士の愛や信頼と、それに基づいた関係は個人的なものかもしれませんが、二人だけでは維持・解決できない場面も多々あります。そうしたとき、結婚という制度がないLGBTにとって、制度の存在は大きなよりどころとなります。早くにこのような制度を作った国分寺市の関係者の皆様には深い敬意と感謝を申し上げます。そしてこの制度を第一号として利用できたことに幸せと誇りを感じています。

今は「特別な人」のための制度という印象もあるでしょうが、同じ市民の一般的な制度と認知されるよう期待しています。



私は国分寺市内在住の田附亮と申します。私は戸籍変更をしていないトランスジェンダー男性であり、戸籍は女性です。私のパートナーは女性なので、法的な婚姻はできません。転出してしまえば効力はないかもしれませんが、形として残せるものがある事は大変嬉しく思います。また、制度に取り組んで頂けることで、同性同士でも婚姻関係を結べるようになる、国を動かす良いきっかけになると信じています。誰もが選択する自由がある国になればと強く思っている為、市の取り組みがその一歩となり、モデルタウンになれる事を心から祈っております。

当事者も含めたすべての人が生きやすい街でありますよう市民として、またLGBTsの活動をしている当事者として陰ながら応援しております。これからも国分寺市でパートナーと幸せに過ごしてまいります。

時代はLGBTQからSOGIE(ソジー)へ

LGBTQなどの性的マイノリティだけではなく、自分を含めた一人ひとりの性の多様性を認識し、互いに尊重し合うことへと変わっています。

LGBTQ
一部の人だけを指す

SOGIE
一人ひとりが当事者

■SOGIEとは

SOGIEとは、3つの要素の頭文字を取った言葉で、誰もが持っている性の要素です。体の性(性的特徴)以外の、3つの要素の組み合わせは一人ひとり異なっています。



- **性的指向** (Sexual Orientation)
どういった性を好きになるか
- **性自認** (Gender Identity)
自分の性別を自分でどう思うか
- **性表現** (Gender Expression)
服装・しぐさ・ことばづかいなど

■性のあり方(セクシュアリティ)とは

性のあり方は、男性・女性の2つだけではなく、下のよう要素から成り立つと考えられていて、一人ひとりがグラデーションになっています。



※この図の表し方は一例です

■アウティングはハラスメント

誰かの性のあり方を、本人の同意なくほかの人に伝えることをアウティングといいます。本人が居場所を奪われたり、生命に関わるようなことになってしまうこともあるので、絶対にやめましょう。

凡例 日時 場所 会場 対象 内容 講師 定員 費用 申込方法 持ち物 問い合わせ先 HP ホームページ 検索 ページ番号検索 ファクス メール 託児あり 主催 共催 注意 事項